ぐんま製茶

所 在 地　桐生市梅田町２－２－４
電話番号　０２７７－３２－０００９
所 有 者　稲葉　知幸氏

わたらせ農業協同組合の共同加工所として稼動していた梅田町の製茶工場は、同農協の解散により操業を停止し、その行く末が危惧されたが、平成１６年（２００４）稲葉屋製茶販売（太田市大原町）が取得し、ぐんま製茶（稲葉知幸代表）を創設したことで、梅田茶の加工販売が復活した。

梅田地区は湿度が高く、寒暖の差が大きい気候が茶の栽培に適し、昔ながらの渋みを守り、香りがいい茶が収穫できる。戦前から栽培され、農協が１９６０年頃から組織的な栽培を指導してきた。

現在、梅田地区には１００軒を越える梅田茶栽培農家があるといわれ、工場の再開は農家を守り、梅田の山あいに広がる茶畑の風景を残した。

建物は木造平家建工場と木造二階建倉庫があり、工場はセメント瓦葺、腰屋根付き、木の外壁を持ち、梅田のお茶の長い歴史を偲ばせる。ここで、生茶から荒茶、商品化までの一貫生産を行うことが出来る。隣接の工場直売所は昭和レトロの趣き。桑の葉でつくる桑茶の製品化にも挑戦している。

山間地の生活と農業、自然や産業、起業家精神などが息づくぐんま製茶の風景である。

（「きりゅう百景」より）